

# 令和2年度 西部小学校アクションプラン



学校の教育目標

「三つの花」を 咲かせる 西部っ子

アクションプラン1

望ましい学習習慣を身に付け、意欲的に学習する子供の育成

アクションプラン2

他者を思いやる言葉やふるまいの大切さに気付く子供の育成

アクションプラン3

身体を動かすことを楽しみ、強い心と体をもつ子供の育成

## アクションプランを達成するための目標設定

望ましい学習習慣を身に付けるために、家庭学習（学年×10分）に取り組む子供が80%以上を目指す。

自分から挨拶できたり、相手を思いやった行動（手伝い）を行い、「心が温かくなった」と感じる事ができたりする子供が80%以上を目指す。

「運動、体を動かす遊びが好きである」「進んで運動に取り組むことができた」の2項目でできた子供が75%以上を目指す。  
また、チャレンジ3015立山編の達成率75%以上も目指す。

## 目標達成のための方法

### <学習習慣の定着>

- 一人一人の教師が授業での学びを家庭学習に生かせるように工夫する。
- 家庭学習が充実するように、家庭学習の手引きを学年ごとに作成・配布する。
- 一人一人の興味・関心や好きなこと、得意なこと（絵を描く、歌の歌詞を視写するなど）に取り組むことも大切にすることで、家庭学習に取り組みやすくする。
- 自学ノートの好事例を掲示し、自学ノートの質の向上につなげていく。

### <読書活動の充実>

- 読む力だけではなく、最後まで聞く力、書く力、発言する力、まとめる力を育てる。
- 自学ノートでも、学びの質を高められるようにする。

### <挨拶の習慣化>

- 1年生の段階から、周囲に配慮した挨拶や会釈ができるように指導を徹底する。
  - 挨拶や会釈は教員や高学年が手本を示す。
  - 朝一番の挨拶を自分からできる子供を育てるために、家庭にも協力を仰ぐ。
  - 家での挨拶について、定期的にチェック（朝の会等）を行う。
- ### <思いやりの心の育成>
- 黙働を徹底する。
  - 「あつまれ！にこにこ家族」を本年度も定期的に実施し、相手を思いやる気持ちや、ふるまいの大切さに気付かせる。
  - 教員が「ありがとう」や「助かったよ」等の感謝の言葉を積極的に使い、相手に気持ちを伝えるようにする。

### <なかよしタイムの充実>

- なかよしタイムに楽しく身体を動かし、子供たちにとって大事な交流の時間となるよう、様々な運動の提案、場づくりを行う。
  - 自分から進んで運動遊びに取り組むことができるように、運動場や体育館に「運動広場」を設置する。
  - 子供が楽しく取り組める体づくり運動を工夫したり、運動広場を生かしたりして、体育の授業の充実を図る。
- ### <目当てを決めた取組>
- 100m走記録ノートを活用し、定期的に記録を測定する。
  - コロナウイルス感染拡大のため、個人で運動遊びに取り組めるよう、場づくりに尽力する。また、「チャレンジ3015」や「きときとチャレンジ」を推進し、個人や家庭でも取り組めるように、運動遊びを企画する。

※ 2学期と3学期はじめて、目標について評価します。